



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社オカムラ

コード番号 7994 URL <http://www.okamura.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 雅行

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 潔 (TEL) 045-319-3445

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 2018年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	118,837	4.9	5,236	11.4	6,068	13.8	4,829	32.5
2018年3月期第2四半期	113,327	1.4	4,702	△7.9	5,334	△3.0	3,645	△4.5

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 6,878百万円(18.2%) 2018年3月期第2四半期 5,817百万円(252.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	43.85	—
2018年3月期第2四半期	33.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	230,241	130,915	56.7
2018年3月期	233,110	125,585	53.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 130,564百万円 2018年3月期 125,223百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
2019年3月期	—	14.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	252,000	4.2	14,000	6.5	15,200	8.6	11,000	1.7	99.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	112,391,530株	2018年3月期	112,391,530株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	2,241,182株	2018年3月期	2,238,845株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	110,151,532株	2018年3月期2Q	110,156,422株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(追加情報)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の国内経済は、企業収益や雇用環境は引き続き改善傾向にあり、景気は緩やかな拡大基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、特徴ある製品づくりやトータルソリューション提案による新しい市場創出、各事業分野でのシェア拡大と新規顧客開拓に努めるとともに、生産性向上やコストダウンを推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高118,837百万円（前年同四半期比4.9%増）、営業利益5,236百万円（前年同四半期比11.4%増）、経常利益6,068百万円（前年同四半期比13.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,829百万円（前年同四半期比32.5%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
オフィス環境事業	57,422	61,751	4,328	2,884	3,763	878
商環境事業	48,383	47,408	△974	1,708	656	△1,051
その他	7,521	9,677	2,155	109	816	706
合計	113,327	118,837	5,509	4,702	5,236	534

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

オフィス環境事業

オフィス環境事業につきましては、大規模オフィスビルの安定的な供給にともなう大型移転案件が増加するとともに、業績が好調な企業を中心としたオフィスの移転需要及びリニューアル需要も堅調に推移いたしました。このような状況のもと、オフィスでの働き方改革や健康への関心の高まりに対応した新しいオフィスづくりの提案を積極的に展開したことにより、高付加価値の大口案件が増加いたしました。また、西日本を中心に病院や公共施設等のオフィス周辺市場への積極的営業活動にも努めたことにより、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益とも大幅に増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、61,751百万円（前年同四半期比7.5%増）、セグメント利益は、3,763百万円（前年同四半期比30.5%増）となりました。

商環境事業

商環境事業につきましては、食品スーパー、ドラッグストアなど業績が好調な小売業を中心に、店舗什器、カート機器、セキュリティ製品など総合力を活かしたトータル提案を強化し、冷凍冷蔵ショーケースのシェアアップやコスト低減に努めましたが、資材価格や工事費の上昇、台風等の自然災害の影響を受けた小売業の投資減速もあり、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益ともに減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、47,408百万円（前年同四半期比2.0%減）、セグメント利益は、656百万円（前年同四半期比61.6%減）となりました。

その他（物流機器事業他）

物流機器事業につきましては、増加するネット通販を扱う物流倉庫を中心に、人手不足に対応した省人化の要望に対し、提案力と優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な営業活動に努めました。また、社内エンジニアリング体制を強化し、利益率が改善したことにより、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高、利益とも大幅に増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、9,677百万円（前年同四半期比28.7%増）、セグメント利益は、816百万円（前年同四半期比7.5倍）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、次のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末から2,868百万円減少して230,241百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加、売上債権の減少を主な要因として5,015百万円減少し、固定資産は、投資有価証券の増加を主な要因として2,146百万円増加いたしました。

負債は、仕入債務及び賞与引当金の減少を主な要因として、前連結会計年度末から8,199百万円減少し、99,326百万円となりました。

純資産は、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加を主な要因として、前連結会計年度末から5,330百万円増加し、130,915百万円となり、自己資本比率は3.0ポイント上昇して56.7%となりました。

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益6,951百万円、減価償却費2,725百万円及び売上債権の減少額11,626百万円等による増加と、賞与引当金の減少額1,388百万円、仕入債務の減少額7,196百万円及び法人税等の支払額2,455百万円等による減少の結果、9,090百万円の資金増加（前年同四半期は7,655百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却及び償還による収入1,741百万円等による増加と、有形固定資産の取得2,181百万円及び無形固定資産の取得490百万円等による減少の結果、1,790百万円の支出（前年同四半期は4,519百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額1,541百万円等による減少の結果、2,023百万円の支出（前年同四半期は1,984百万円の支出）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から5,174百万円増加（前年同四半期は1,167百万円の増加）し、31,296百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月9日に公表しました2019年3月期の連結業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日（2018年11月2日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,452	32,916
受取手形及び売掛金	68,015	56,389
有価証券	-	500
商品及び製品	11,579	12,188
仕掛品	1,658	1,843
原材料及び貯蔵品	4,464	4,666
その他	2,579	2,225
貸倒引当金	△78	△74
流動資産合計	115,671	110,656
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,666	14,286
土地	27,892	27,892
その他(純額)	13,784	13,828
有形固定資産合計	56,343	56,007
無形固定資産		
のれん	5	-
その他	4,039	3,874
無形固定資産合計	4,045	3,874
投資その他の資産		
投資有価証券	49,414	52,074
その他	7,670	7,684
貸倒引当金	△35	△55
投資その他の資産合計	57,049	59,703
固定資産合計	117,438	119,585
資産合計	233,110	230,241

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,764	22,401
電子記録債務	20,283	19,085
短期借入金	6,190	6,136
1年内返済予定の長期借入金	1,503	1,487
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	3,010	1,974
賞与引当金	3,850	2,461
その他	6,256	6,532
流動負債合計	74,858	65,080
固定負債		
社債	5,000	5,000
長期借入金	5,307	5,087
退職給付に係る負債	15,502	16,013
その他	6,856	8,145
固定負債合計	32,666	34,245
負債合計	107,525	99,326
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,766	16,766
利益剰余金	78,991	82,276
自己株式	△2,429	△2,432
株主資本合計	111,999	115,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,103	16,188
為替換算調整勘定	236	87
退職給付に係る調整累計額	△1,116	△992
その他の包括利益累計額合計	13,223	15,283
非支配株主持分	362	351
純資産合計	125,585	130,915
負債純資産合計	233,110	230,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	113,327	118,837
売上原価	78,260	81,409
売上総利益	35,067	37,427
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	4,836	5,040
給料及び手当	9,720	10,147
賞与引当金繰入額	1,602	1,658
賃借料	3,918	4,257
その他	10,287	11,085
販売費及び一般管理費合計	30,365	32,190
営業利益	4,702	5,236
営業外収益		
受取利息	8	13
受取配当金	346	502
持分法による投資利益	186	174
その他	364	422
営業外収益合計	906	1,113
営業外費用		
支払利息	100	87
固定資産除売却損	56	95
その他	117	99
営業外費用合計	274	281
経常利益	5,334	6,068
特別利益		
投資有価証券売却益	-	1,196
特別利益合計	-	1,196
特別損失		
減損損失	-	18
災害による損失	-	294
ゴルフ会員権評価損	1	1
特別損失合計	1	313
税金等調整前四半期純利益	5,333	6,951
法人税、住民税及び事業税	1,014	1,833
法人税等調整額	666	291
法人税等合計	1,680	2,125
四半期純利益	3,652	4,826
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,645	4,829

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	3,652	4,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,198	2,095
為替換算調整勘定	△4	△120
退職給付に係る調整額	△35	124
持分法適用会社に対する持分相当額	5	△47
その他の包括利益合計	2,164	2,051
四半期包括利益	5,817	6,878
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,819	6,889
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,333	6,951
減価償却費	2,696	2,725
減損損失	-	18
持分法による投資損益(△は益)	△186	△174
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25	16
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,297	△1,388
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	330	680
受取利息及び受取配当金	△355	△516
支払利息	100	87
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△1,196
売上債権の増減額(△は増加)	9,845	11,626
たな卸資産の増減額(△は増加)	△599	△996
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,929	△7,196
未払消費税等の増減額(△は減少)	275	78
その他	△883	383
小計	10,305	11,097
利息及び配当金の受取額	364	530
利息の支払額	△103	△82
法人税等の支払額	△2,910	△2,455
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,655	9,090
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△912	△934
定期預金の払戻による収入	533	640
有形固定資産の取得による支出	△2,101	△2,181
無形固定資産の取得による支出	△474	△490
投資有価証券の取得による支出	△1,524	△582
投資有価証券の売却及び償還による収入	0	1,741
その他	△38	17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,519	△1,790
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50	△42
長期借入金の返済による支出	△231	△235
社債の発行による収入	5,000	-
社債の償還による支出	△5,000	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△1,323	△1,541
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△236	-
その他	△242	△201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,984	△2,023
現金及び現金同等物に係る換算差額	15	△103
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,167	5,174
現金及び現金同等物の期首残高	25,461	26,122
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,629	31,296

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	57,422	48,383	105,805	7,521	113,327	—	113,327
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	57,422	48,383	105,805	7,521	113,327	—	113,327
セグメント利益	2,884	1,708	4,592	109	4,702	—	4,702

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流機器事業及び流体変速機事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	61,751	47,408	109,159	9,677	118,837	—	118,837
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	61,751	47,408	109,159	9,677	118,837	—	118,837
セグメント利益	3,763	656	4,420	816	5,236	—	5,236

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流機器事業及び流体変速機事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス環境事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては18百万円であります。